

Hydrophobic

K
iWaMi
3C/B

L·G·LA

[髪質トリートメント剤]

化学的結合水®

Kiwami-3 C/BL

レブリン酸配合 結合水系（水素結合）

Kiwami-3 C/BG

グリオキシル酸配合 結合水系（水素結合）

Kiwami-3 C/LA

レブリン酸・活性型ケラチン配合

結合水&ボンド系（水素結合/S-S結合）

L・G レブリン酸とグリオキシル酸

• レブリン酸とグリオキシル酸の働き

ダメージヘア
 ・ダメージホール
 ・キューティクル損傷
 ・油分が減る



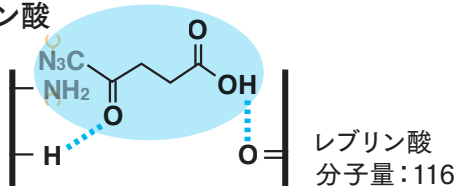
髪質(結合)トリートメント



水の出入りが、増える&激しい。
 結合水がこわれ、内部にどんどん水が入り、
 乾燥時にパサつく。
 疎水性が低下し、水素結合が減少。

レブリン酸、グリオキシル酸が定着。
 結合水*として働き、
 うるおい、疎水性、形を補修。
 ※保湿性が高い水

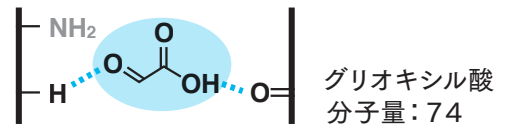
レブリン酸



+熱 ストレートアイロンで
 水を完全に飛ばす

イミン結合
 結合水として働く

グリオキシル酸

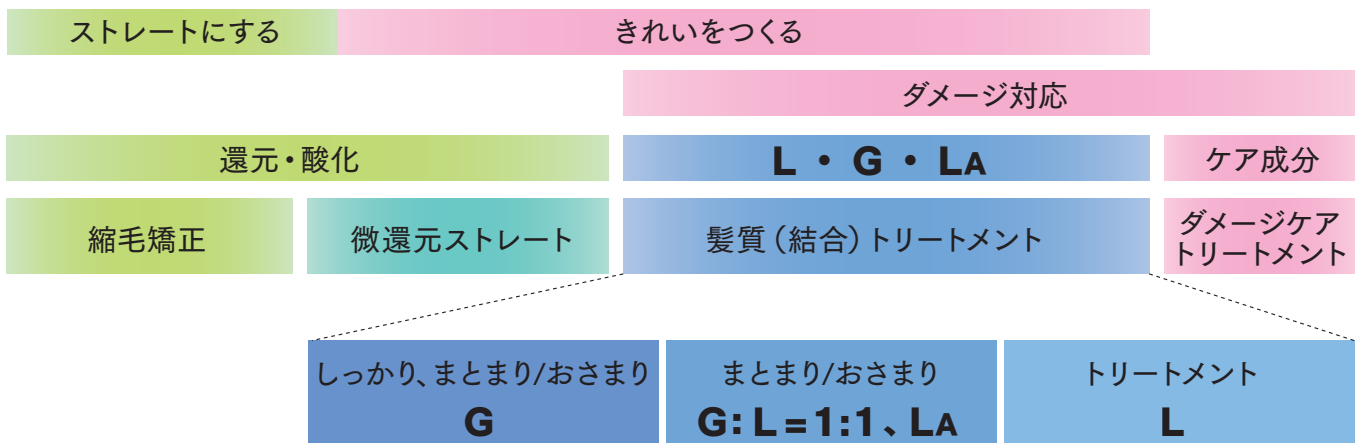


アルデヒド基が
 構造の中にある

+熱 ストレートアイロンで
 水を完全に飛ばす


メチレン架橋・イミン結合
 結合水として働く

• 髪質トリートメントの役割

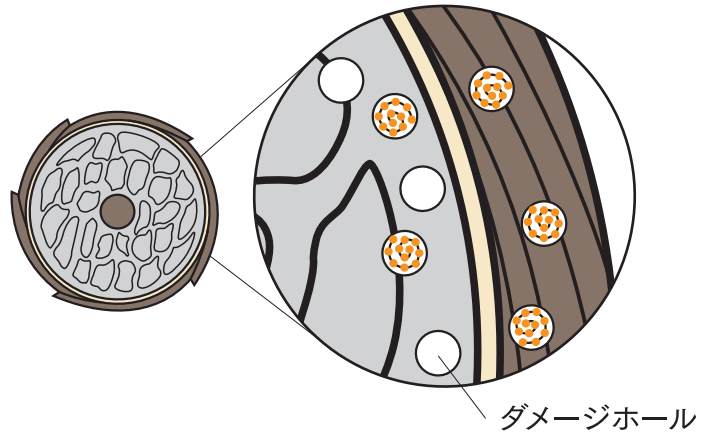


LA レブリン酸 + 活性型ケラチン + APP

● 活性型ケラチンの働き①

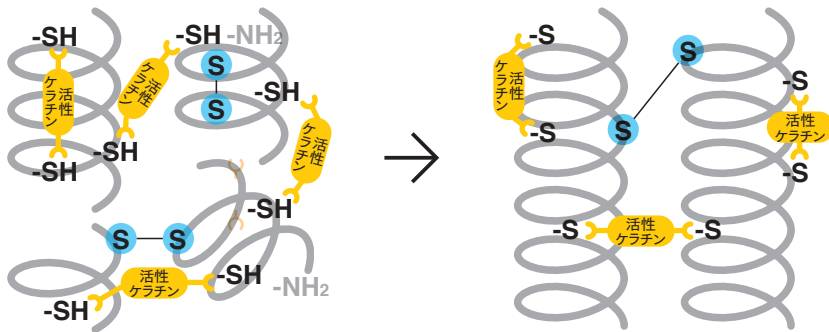
 …… 活性ケラチン

高分子の活性ケラチンが、疎水性相互作用やイオン結合によって、立体的にダメージホールに吸着する。



● 活性型ケラチンの働き②

S-S結合を持ったケラチンの架橋のイメージ

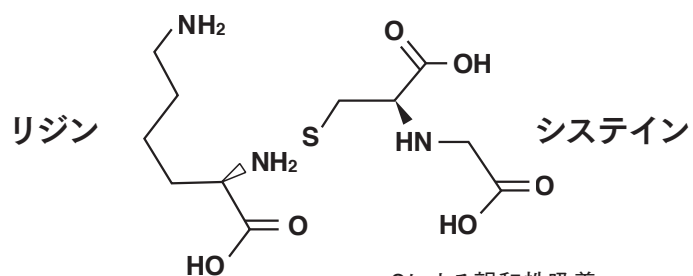


SHとSHを架橋

活性ケラチンのS-S結合が、ダメージなどにより生成したシステイン残基(-SH)により活性化(-SH)。切れた部分を整え、さらに毛髪内タンパク同士を整え、タンパクの構造を整える。

● APP (カルボキシメチルシステインリジン) の働き

システインと塩基性アミノ酸「リジン」を組み合わせた単一構造のケラチン PPT。ダメージ部分に浸透吸着。また、キューティクルにも吸着してケラチンコート。
分子量：325



Sによる親和性吸着
イオン結合、水素結合、
ファンデルワールス力で吸着

● コストの目安

	使用料	コストの目安
L (レブリン酸)	50~100cc (ミディアム~ロング)	800~1,000円
G (グリオキシル酸)	50~100cc (ミディアム~ロング)	1,000~1,200円
LA (レブリン酸 + 活性型ケラチン + APP)	50~100cc (ミディアム~ロング)	900~1,400円



L

ハイドロフォビック
クリアメイク ピース5 Kiwami-3
C/B L (pH: 2.8)

しっとりサラサラ質感
500g/¥4,500 特許出願中



G

ハイドロフォビック
クリアメイク ピース5 Kiwami-3
C/B G (pH: 1.7)

しっとり質感
500g/¥5,000 特許出願中



LA

ハイドロフォビック
クリアメイク ピース5 Kiwami-3
C/B LA (pH: 4.2)

しっとりサラサラ質感
500g/¥6,800 特許出願中

『L』『G』の使い方

① シャンプー

② 前処理

『クリアメイクピース5 Kiwami 1』を
ダメージ部分に2cmスライスで
1~2プッシュを丁寧に塗布。



クリアメイクピース5
Kiwami 1
(超高濃度 修復剤)

③ 『L』または『G』を塗布

『Kiwami-3 C/B L』あるいは『Kiwami-3 C/B G』を、
肌や頭皮につかないよう気をつけながら、
2cmスライスで丁寧に塗布



クリアメイクピース5
Kiwami-3 C/B L
レブリン酸



クリアメイクピース5
Kiwami-3 C/B G
グリオキシル酸

④ 加温

遠赤なら60°Cで15~20分、
スチーマーなら45~50°Cで、15~20分加温

⑤ 2回シャンプー

⑥ 後処理

- 『ハイドロフォビックアミノアシッド EX』を水で10倍希釈し、全体に塗布した後、髪をすすぐ



ハイドロフォビック
アミノアシッド EX

- 『クリアメイクピース5 Kiwami 2』をつけた後、
『クリアメイクピース3』をつけ、
チェンジリンスする

クリアメイクピース5 Kiwami 2
(超高濃度 修復剤)



クリアメイクピース3
(CMCトリートメント)



⑦ ドライ

- タオルドライ後、髪全体に
『クリアメイクピース2』(18-MEA、
エルカラクトン配合)を塗布



クリアメイクピース2
(処理剤)

- ツインブラシでキューティクルを整えた後、残った水分を飛ばすため、ストレートアイロンやカールアイロンを、熱変性をしない程度にかるくかける

『LA』の使い方

① シャンプー

② 『LA』を塗布

『Kiwami-3 C/B LA』を、
肌や頭皮につかないよう
気をつけながら、
2cmスライスで丁寧に塗布



クリアメイクピース5
Kiwami-3 C/B LA
レブリン酸/
活性型ケラチン/APP

③ 加温

遠赤なら60°Cで15~20分、
スチーマーなら45~50°Cで、15~20分加温

④ 2回シャンプー

⑤ 後処理

『クリアメイクピース3』
をつけ、チェンジリンス

クリアメイク
ピース3



⑥ ドライ

- タオルドライ後、髪全体に
『クリアメイクピース2』を塗布

クリアメイク
ピース2



- ツインブラシでキューティクルを整えた後、残った水分を飛ばすため、ストレートアイロンやカールアイロンを、熱変性をしない程度にかるくかける